

平成26年度 産業経済部長「政策宣言」達成状況報告

産業経済部長 河原 隆 幸

○ 平成26年度重要事業

事業名	射水市の知名度と魅力度の向上
目 標	インターネットやマスコミ等を有効に活用するとともに、インパクトのあるポスターやパンフレットを作成し、首都圏等で開催される、ふるさと物産展やPRイベント等で活用するほか、映画やドラマのロケを誘致するなど、様々な手段により「射水市」と射水ブランドを全国に発信します。
年度末達成状況	「立川志の輔」師匠の協力を得て作成したPRポスターは、県外での物産展などで有効に活用し、高い評価を得ることができました。また、「昼セリ」など、射水の魅力を積極的に情報発信したことから、射水市が全国ネットの情報番組でとりあげられることが多くなりました。さらに、「射水ベイエリア」が映画やドラマのロケ地に選ばれるなど、射水市の知名度は一段と高まるものと期待しています。
自己評価	射水市の「知名度」、「魅力度」とも確実に上がってきていると感じていますが、民間の調査によれば、調査対象とした全国1,000の自治体の中では、それぞれ743位、639位と決して満足できるものではありません。今後は、少しでも上位にランクされるよう、各種施策により一層積極的に取り組んでいきます。

事業名	第35回全国豊かな海づくり大会の成功に向けて
目 標	富山県実行委員会や関係諸団体と連携し、開催に向けて準備を進めるとともに、PR活動や1年前プレイベント等により市民の機運醸成を図ります。また、射水の魅力を全国に発信するための方策について検討するとともに、全国から訪れる多くの方を、射水市全体でお迎えする「おもてなし」の態勢づくりを進めます。
年度末達成状況	1年前プレイベントや稚魚のリレー放流事業に参加し、また、市独自に県内外のイベントでPR活動を実施するなど、大会開催への機運醸成に取り組みました。
自己評価	各種PR活動に取り組んできましたが、大会までにまだ時間があることもあり、市民の皆さんの関心は決して高くないと感じています。今後は、新たに万葉線やタクシーなどを活用したPR活動にも取り組み、市全体の盛り上げを図っていきます。

事業名	射水ベイエリアの賑わい創出
目 標	ベイエリアの賑わい創出や滞在型観光の拠点となる集客施設や宿泊施設等の誘致活動を進めます。また、内川周辺に観光案内板や公衆トイレを設置するなど、観光客の受け入れ態勢を整備するとともに、観光ボランティア等による観光案内や観光マップの活

	用により、海王丸パーク周辺を訪れる観光客の内川周辺への回遊を図ります。
年度末 達成状況	内川周辺に観光客用の公衆トイレと英語併記の観光案内版を2基設置しました。また、今年度から観光案内を行っている海王丸パーク内の「みなと交流館」には県内外から約3,700人の観光客が訪れており、内川周辺をはじめ市内観光施設のPRに効果を上げています。
自己評価	射水ベイエリアの魅力と賑わいは着実に高まっています。しかしながら、その核になるともいえる宿泊施設、集客施設につきましては、多くの関連会社で誘致活動を行ってききましたが、実現することはできませんでした。今後は、誘致のための優遇制度の充実を含め、新たな視線での誘致活動を検討していきます。